

平成 25 年 10 月 10 日開催

第2回行財政改革審議会

現地視察における委員意見等

施設名 エコセンター恵那

行財政改革行動計画(後期)における進捗状況

・本年8月より「ごみ処理施設整備検討委員会」を立ち上げ、現在稼働中の「エコセンター恵那」の建設経緯や現状を把握しRDF炭化物製造の判断や今後の在り方を含め、ごみ処理の方法や施設の内容、規模、処理方式、建設候補地などを検討していきます。(行財政改革行動計画(後期)での実施項目としての位置づけはありません。)

【質疑回答】

質問	回答
人口推計によると、恵那市の人口は減少傾向にあるが、ゴミの減少(傾向)と現設備の今後の維持の整合性はどうなっているか。	ごみ量は今後10年間で約12,000t/年前後の処理量と考えており、灯油・電気等の燃料費に対しては運転方法により整合を取る運転は可能であるが、ごみ処理を行なう機器点数による整合は取れない(部分的に機器をスルーしてごみ処理は不可能である)また、今後の維持管理費用に対する整合性は今後の恵那市ごみ処理施設整備検討委員会で検討して頂く事項であると考えている。
他市(瑞浪市、土岐市)に比べて委託費が多いがその理由について。また発生費用は適正か。	東濃5市の内、直営は恵那市と土岐市の2市のため、瑞浪市を含む比較はできないが、恵那市の委託費は、粗大ゴミ処理事業費7,546千円、活性炭交換費5,880千円、環境影響調査、5,723千円、炭化物等搬出委託費10,845千円、その他保守管理費等として29,728千円支出している。同じ直営である土岐市に比べて委託費が高いのは、炭化物等搬出経費及び処理方式の違いによるものと考えている。炭化物等搬出経費は引渡先の確保に苦慮し、県外等遠方の利用施設まで運送しなければならないため高額となっているが、平成26年度からは、新たな引取先の目処が立ったため、この点は改善されると思っている。
最終処分場について、「新たな処分場を整備した」とあるが、その具体的内容は? ——場所、容量(H24の埋め立てペースで向こう何年分)について	恵那市一般廃棄物最終処分場 平成21年度竣工 恵那市笠置町毛呂窪棚杭地内 埋立面積 4,410㎡、埋立容量 20,389㎡ 埋立方式 セル方式(即日覆土)2,132 侵出水処理能力 30㎡/日 埋立可能年数 $2,0389\text{㎡} \div 2,000\text{㎡/年} \approx 10\text{年}$
H23において、可燃ゴミ12292トンの処理によりどれだけのRDF、炭化物がそれぞれ生成できたのですか?それとも全て炭化物にされるのですか?	可燃ごみ12,292tの内12,005tをRDF又は炭化物として製造出来、1,941.8tの炭化物と75.99tのRDFを出荷した。
炭化物の利用先はトン当たり1000円の助燃材しかないのですか? より付加価値の高い利用について調査や研究をしているのですか?	RDFの引取単価は会計検査院の報告によると全国平均525円。恵那市において炭化物の引取単価は(株)栗本鐵工所との覚書により平成24年度まで1,000円(税抜き)、平成25年度からは500円(税抜き)となっている。主な利用先は本県市の大住友セメント、用途は助燃材。平成24年度から新たな利用先として富士市の岳南第一製紙協同組合へ搬出、用途は固形燃料の材料となっている。RDFは、生ごみ等を固めたものであることから塩分濃度が高く、通常のボイラーで燃焼させると腐食がおき、燃焼炉を傷めること等から引渡先が限定されていたが、平成26年度からは新たな引取先の目処が立ったため、全量RDF(引取単価500円:税抜き)にて搬出予定。
参考に、恵那市以外のRDF炭化物処理施設の処理コスト、販路、売上高/t、施設能力、恵那市と同様な問題点の有無などの比較データも知りたいです。	恵那市以外のRDF炭化物処理施設は全国で3箇所。利用先は、奈良県(クリーンセンター広陵)では一廃焼却炉へ処理委託。北海道(炭化センター)では最終処分場の覆土材として利用。鹿児島県(屋久島クリーンセンター)は用途不明。以下処理コスト等3箇所とも詳細は不明。
施設比較表の中で、当初の工事費の比較も知りたいです。	恵那市3,449百万円、瑞浪市3,285百万円、中津川市4,500百万円、土岐市1,400百万円、多治見市10,644百万円
10年間の施設の稼働について、地元地区からの苦情、不都合な問題の発生は?	毎年、エコセンター恵那環境監視委員会を実施し、各種検査結果及び稼働状況について報告しているが、地元地区からの苦情、不都合な問題は発生していない。
施設の再生利用率の具体的なデータが知りたい。 再生利用率(31.6%、18.4%)、の算出方法は? また、他市は再生利用率はゼロと言うことですか?	31.6%は、 $(\text{再生利用量} \div \text{ごみ排出量}) = 5,002\text{t} \div 15,842\text{t}$ 。18.4%は、再生利用量5,002tからRDF洗浄炭2,087tを除いた2,915tをごみ排出量15,842tで割った値です。他市の再生利用率は別紙。

施設名 エコセンター恵那

行財政改革行動計画(後期)における進捗状況

・本年8月より「ごみ処理施設整備検討委員会」を立ち上げ、現在稼働中の「エコセンター恵那」の建設経緯や現状を把握しRDF炭化物製造の判断や今後の在り方を含め、ごみ処理の方法や施設の内容、規模、処理方式、建設候補地などを検討していきます。(行財政改革行動計画(後期)での実施項目としての位置づけはありません。)

【質疑回答】

質問	回答
各市のCO2、ダイオキシン、埋め立量の比較も知りたいです。	恵那市は大気汚染検査によるとCO2未測定、ダイオキシン0.0073(H24)基準値0.6以下 他市は不明。埋め立量：恵那市267t、瑞浪市411t、中津川市2,396t、土岐市2,688t、多治見市2,773t
3日間/週 の連続運転の稼働とありますが、年間の稼働率は何パーセントくらいでしょうか？	平成24年度の連続運転での稼働率は、稼働日数142日÷可能日数153日＝92.81%。停止日数は故障停止日数5日、定期工事停止日数6日。月・金は点検整備及び清掃業務のみであるが、ごみ量が多い場合はバッチ運転を実施、平成24年度の月・金稼働率は稼働日数35日÷可能日数103日＝33.98%。土・日稼働率は稼働日数14日÷可能日数104日＝13.46%となっている。またごみ量がピット容量を超える場合は市外処理となり、(御殿場市、伊賀市)平成24年度は8日間で210.82tの委託となっている。

【意見等】

・処理費が比較できていない。高い費用、これを低減する活動が必要。
・10年以内に新施設作成する。そのステップをきちっと踏まえるように確実な計画立案を。
・現地での質問が多く、事前の質問と回答の意味が薄れてしまった。
・現場をもっと見たかったので、日程の調整をしっかりとほしい。(修理日は外す。)
・RDF・炭化物の商品化と販路拡大。
・環境にやさしく、コスト減の次期施設を早期に取り組む。
・今回センター検討委員会を立ち上げられたことは評価します。但し10年間の間というより、早めにコストのかからない施設を建設する事が急務だと考えます。しかし長い目で見た計画が必要。
・ゴミ処理量がおおよそ12千トンで推移するというお話でしたが過去5年間の実績をみると、H19年度13,332t、以降13,416t、12,458t、その後3年間は12千トンで横ばい、ということですが今後もこの状態で推移するのか、疑問が残ります。つまり、人口は減少する。新たな事業の受け入れの予定が見えない中でゴミは減らない。という理屈がよくわかりません。 現状でも、ゴミ燃料化が90t/日に対して実績が約50tという話でしたが、稼働率を上げる必要はないのでしょうか。
・施設のポリシーを明確にすることが必要。環境・エコを売りにしているなら単にコストだけで比較すべきでない。そのことを市民と共有することが大事。
・プラットフォームに入る入口に「ヘルメット着用」と掲示してあるが、ほとんど着用していない。安全第一の心を大事に。
・管理運営は直営となっているが、アウトソーシングの方法はあるのか。
・ゴミ処理量の削減に向けた市民との十分な連携が取れているのか不安を感じた。
・「ごみ処理施設」は全国的に関心が高く、関係のあることがらなので、国などから補助金をもらってモデル施設になるという方法などを検討したらどうでしょうか。
・ごみ処理施設の現状については、最終処分場の場所の確保が最優先課題であると考えますが、数年単位ではなく、数十年単位を考えなければならないと思います。住空間の近くや飲料水の水源近くでは反対運動が必ずおこりますし、それ以外の場所の計画がないと、先々のごみ処理費用の増大につながると思います。
・「ごみ処理施設整備検討委員会」の議事録を視察から帰ってきてから読みました。この検討委員会の資料もグラフ化されており、よみやすいと感じました。視察に行く前に知っておきたかったです。

施設名 長島保育園

行財政改革行動計画(後期)における進捗状況

・行財政行動計画(前期)における目標どおり、H23年度の1年間の引継期間を経て、H24年4月から学校法人恵峰学園による指定管理者制度へ移行しました。
 ・子ども園化についてはH27年度の導入の目指しております。(行動計画書(後期)P17掲載【27】保育園と幼稚園の子ども園化)

【質疑回答】

質問	回答
保育の特徴で「自然でのびのび遊んでいる」とあるが、その実績は？	運動会、プール、園庭での遊びのほかに、散歩、園外保育、親子遠足、サツマイモ苗さし、芋ほり、畑づくり、花植えなどは年間の行事として組み込まれています。
同じく「学生とのふれあいを大切にしている」とあるがその実績は？	①10月の恵那東中学校、西中学校の職場体験、②夏季休暇中のボランティア(短大生1名、中学生2名)、③保育実習生(毎年5名程)の受け入れを行っている。
特色ある行事等は目標を達成するために具体的な施策にあって計画に盛り込まれたものか、思いつきで実施したのか？	「保育所保育指針、保育課程」に基づいて保育をしており、特色ある行事等もそれに基づいた活動です。
定員90名に対して、実績が80名とあるが、不足人数に対する施策はあるのか？	保育室面積基準が0、1歳児は3.3㎡、2歳以上が1.98㎡以上、保育士の配置基準も学年ごとに異なっているという条件で、3歳未満児の保育需要が増加しているため、実績が少なくみえるが、実際は目一杯受け入れしている。
家族に対するアンケート調査(匿名・郵送)は実施されていますか？あれば、その評価は指定管理当初に比べてどのような点で改善・向上していますか？あるいは、劣化していますか？サービス面で問題はありますか？	現在、保護者アンケートを実施中。回収後に、第三者評価機関(岐阜県社会福祉協議会)から改善について指導を受ける予定。(26年1月を予定)
現行の延長保育に対して、園児の親からさらなる拡大要望はありますか？	ありません。
クラス別延長保育者数の表において、勤めを持つ母親の数を教えてください。	全員です。
指定管理移行後の保護者の満足度のようなものが知りたいです。保護者アンケートなど実施しているのなら、結果を見たいです。	保護者アンケートは実施中ですが、運営委員会では「もっと指定管理者のカラーを出してもらってもいいのでは」といった意見もあった。
保護者が保育園側に要望を伝えたり、対等に話し合えるような(例えば運営委員会などといったもの)場はありますか？具体的にどのような事が話し合われたのでしょうか？	年3～4回運営委員会(保護者、市、指定管理者)を開催し、意見交換を行っている。内容は、園運営全般ですが、特に行事の運営方法が適切であったか、保護者の役割はあれで良かったかなど。
将来的には指定管理の先(移譲など)について、恵那市はどう考えていますか？	現在、移譲について考えていない。

【意見等】

・指定管理にして良かった点をもっと整理し、他へ展開すべき。
・給食センターでのアレルギー対応はできないか。食数増で安く対応できると思うが。
・保育内容の低下が保護者からあり、指定管理の内容の検証。
・早く施設の移転が必要。非常に狭い。
・定員と実績の関係がよくわかりません。保育士の配置基準が条件となっているならば、定員も学年ごとに表記すべきではないでしょうか。
・3歳未満児の保育需要が増加している状況に対する施策がみえません。
・古い施設なので、もう少し補修に費用をさいても良いと思う。子供は将来の財産なので、人口減少対策のためにもよいと考える。
・行政と指定管理者との十分な連携が取れているのか不安を感じた。
・「指定管理者の保育に関するカラーを出してもらっていいのでは」とのアンケート意見であったそうですがそのとおりだと思います。
・山岡保育園に比べ、施設の規模が小さいことは否めませんが、15名の職員数で定員いっぱいに近い園児数の面倒を見るのは、正直大変ではないかと感じました。
・こども園移行後の計画も知りたい。
・予算計画は？
・狭い敷地の長島保育園と、広い敷地で遊戯室も広い山岡保育園の差が、視察によってとてもよくわかりました。

施設名 山岡保育園

行財政改革行動計画(後期)における進捗状況

- ・H27年度の指定管理者制度導入に向けて、保護者を中心とした指定管理検討委員会で協議を重ね、現在、10/28より指定管理者の募集を行っております。(行動計画書(後期)P16掲載【26】保育園への指定管理者制度導入)
- ・子ども園化についてもH27年度の導入の目指しております。(行動計画書(後期)P17掲載【27】保育園と幼稚園の子ども園化)

【質疑回答】

質問	回答
定員150名に対して、実績が94名とあるが、不足分への施策は？	全体的には、少子化により園児数は減少しており、定員も徐々に下げているが、未満児保育の需要は上がっている。施設規模は、定員150名と余裕があるので、保育士の確保により未満児保育を充実させたい。
園の目標と、保育の特徴、特色ある行事のつながりを分かるよう説明してください。	「明るく元気に仲良く遊ぶ子」という目標どおり、自然豊かな環境の中での園外保育（散歩、畑作業）、地域とのつながりを重視した行事を多く取り入れているのが園の特徴です。
家族に対するアンケート調査（匿名・郵送）は実施されていますか？	これから指定管理者制度に移行するため、アンケート調査をする必要があるかどうかも含めて運営委員会に諮りたい。
現行の延長保育に対して、園児の親からさらなる拡大要望はありますか？	今のところありません。
クラス別延長保育者数の表において、勤めを持つ母親の数を教えてください。	22名全ての母親が勤めています。
今現在実施されている、送迎バスが今後（指定管理後）継続していくのか、廃止なのかしっかりとした恵那市の方針はありますか？	現在無料で運行しているが、有料（月2,000円程度）にして継続するよう検討している。

【意見等】

・園長先生をはじめ、山岡保育園の実態とお話を伺いたかった。（時間がなかった。）
・地域中心の保育に限定すれば対象児と定員の係わりはどうか？
・指定管理受託者にかなりの重荷になる。
・150名の定員で現在90名。今後さらに減少する事が予想される。今後指定管理施設に移管するにしても、このままでは今後市の負担が大きくなると考えられますので検討が必要。
・施設の集約も考えるべきと思う。
・送迎については公平性を考え、市全体から見ると無料というのは不公平と思います。
・地理的、人口構成などの要因を含め、定員190名（現在は150名）の施設は適当なのでしょうか。法律の問題はあるにしても施設の有効活用も検討すべきではないでしょうか。
・指定管理者への移行にしても、現状の定員150名を満たすために、保育士の確保も必要だということですが、確保するための具体的な施策が見えてきませんでした。
・（参考）玄関上部の“山岡保育園”の文字が汚れています。自分の顔が汚れていても気にならない、そういう意識が運営にも影響を与えることもあります。（ちょっと気になりました）
・ここは逆に施設は立派だが、需要にミートしていない。未満児保育への対応が必要。（当社でもよく聞く）施設の払い下げは現実的ではないと思うが、余分な維持費用はおさえるべき。むしろ保育士の確保対応が対応が大きな課題。
・難しいかもしれないが、施設の有効活用をした方がいいと思います。方法はあるはずです。
・自然の中でのびのび子供を育てるというイメージが伝わってきます。たしかに人数の割りに施設が大きいとは思いますが、不特定多数の人を園内に入れるのも不安です。
・指定管理化していく方向の中で、複合施設としての利用は難しいとのことでしたが、立地的にも、地域の方が使うには利用しにくい場所にあると感じました。

施設名 明智回想法センター

行財政改革行動計画(後期)における進捗状況
・H26年度の指定管理者制度導入に向けて、回想法運営委員会で協議検討を行っております。(行動計画書(後期)P16掲載【25】福祉関連施設への指定管理者制度導入)

【質疑回答】

質問	回答
利用状況について予実績（H24の計画値）で示してほしい。実績値だけでは評価のしようがない。	計画数値はありませんので前年実績対比で説明します。下記のとおりです。
回想法センターは何を目的とした施設なんですか？（資料が分かりにくい。そもそも「回想法」という言葉を知りませんでした。）「回想法」の説明をお願いします。	下記の説明と別添資料のとおりです。

○利用状況について

区 分	施設見学者(人)	施設使用		視 察		館外活動		合 計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
23年度	2,340	257	2,846	17	186	20	715	294	6,087
24年度	2,942	261	2,939	15	200	5	379	281	6,460

○回想法とは

回想法は、脳を活性化させ心を元気にする心理療法です。昔懐かしい生活用具などを用いて、かつて経験したことを楽しみながら皆で語り合います。

認知症の治療や研究を行い回想法を勧める医師は「認知症と診断された患者が『昔、学校で褒められた』『徒競走で一番を取った』という話を始めたところ、患者の脳の血流が一気に増えた」と言います。回想法によって脳を刺激することで、認知症を予防したり進行を遅らせたりする効果があるといわれています。

○回想法センターの概要

回想法センターは、回想法スクールの開催をはじめとした、回想法の実践、研修、普及促進の施設として、その役割を担います。また懐かしい玩具などを常備し、子どもたちも集える世代交流のサロンとしての役割も果たし、健やかで活力のある地域づくりを推進する施設でもあります。

【意見等】

・回想法の説明ができ、PRできる人を育ててほしい。（人材不足）
・市直営でなくても良いと思った。
・事業の内容から主体的に担う課の位置づけ。
・地域的から全体的に広げるPRをする。
・大変良いことだとは思いますが、市全体に使用できるよう配慮、PRが必要。
・建物が古く耐震性は大丈夫ですか。何かあったら市の責任にならないですか。
・このような活動はもっと広げていくことを期待します。コスト的にも、当面はそんなにかからないように思われます。施設の改修の時期になると、議論が必要になるかと思いますがそれまでに、もっと恵那市の中で定着を図り、将来は文化センターでも、活動ができるように施設を含めてやり方を工夫していった欲しいと思います。
・高齢者の医療費を抑えることにもつながるので、もっと高齢者の多い地域に対する普及活動をお願いします。
・「ひまわり」など、市の他の施設との連携もぜひ検討して実現していただきたいと思います。
・この施設は大切にすべき遺産である。こういった施設は恵那市だけ考えるのではなく、近隣市あるいは県のレベルで有効利用できるような投げかけも一つだと思う。
・利用者が明智地区に限定されている。指定管理はやむをえない。
・センターの2階にあがる木の階段を上った途端、小学校の階段を思い出しました。こういうことが脳にいいとするならば、他では味わうことのできない素晴らしいことだと思いました。ただ、回想法センターという名前と建物が合っていないと感じます。
・他の地域の人への認知度が低いと感じます。もう少し、他地域の人の使用度をあげる取り組みを期待します。使用料徴収の方がよいのでは？
・目的をしっかり持ってほしい。
・行革の視察の中で、視察の意味がよくわからない施設でした。本館の廊下はずいぶん斜めに傾いているようでした。合併前にこの敷地を買収した（建物は寄付していただいたようですが）当時から耐震強度についてはわかってはいたはずですが、利用者の方々がどの地域から来て下さったかというような把握をしておらず、そういう情報はしっかりと取るようにしていただきたい。
資料館や博物館として利用するとしたら、団塊ジュニア以降の世代には、道具の名前や説明書きの表示が必要かと思っています。

施設名 介護老人保健施設ひまわり

行財政改革行動計画(後期)における進捗状況
・H27年度の指定管理者制度導入に向けて、指定管理者の選定方法等について、恵南医師会長と協議を行っております。(行動計画書(後期)P17掲載【29】介護老人保健施設ひまわりの指定管理者制度導入)

【質疑回答】

質問	回答
稼働率はとてもよいと思うが、採算はどうなっていますか？	収益に対する費用が3年平均で約104.9%でマイナスとなっており、さらに現金・預金も毎年1千万円ほど減ってはいますが、起債の償還終了後は採算が取れるようになります。
利用者（利用者の家族）の声を聴くシステムはありますか。またあるとしたら反映させた実績を教えてください。	月2回の介護相談員による利用者面談の実施や意見箱の設置及び苦情受付担当者の掲示を行っています。介護相談員から施設の臭いが気になるなどの話があり、換気をこまめに行う事、消臭スプレーの使用等の改善を行った。
H25年8月現在の入居者の要介護度別在居月数は？	介護度1, 2, 3, 4は11ヶ月、 介護度5は15ヶ月
過去5年の要介護度別の自宅復帰者数は？ 又、年間の全退出者数は？自宅復帰者以外の退出者は何処に移るのですか？	下記のとおりです。 年間の全退出者数は79名、自宅復帰者以外の退出者は病院、特養等の施設等です。
要介護度別の機能訓練を施している人の数は？	H25年8月で介護度1は14人、介護度2は21人、介護度3は19人、介護度4は16人、介護度5は22人です。
週当たりの機能回復施術回数は？	週2回です。
本人または家族に対するアンケート調査（匿名・郵送）は実施されていますか？	年1回です。

年度別自宅復帰者数

	介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	要支援1	計
H20	人数	2	2	4	0	1		9
H21	人数	0	4	1	0	2		7
H21	人数	4	2	5	6	0	1	18
H23	人数	4	3	5	3	4		19
H24	人数	1	4	6	6	2		19
合計		11	15	21	15	9	1	72

【意見等】

・今後10年間も赤字を続けることについて、もっと真剣に取り組んで欲しいと思います。指定管理者の条件が厳しいということで、なかなか移行も難しいようですが、考え方ですが“必要な赤字”ということもあります。（赤字を容認しているわけではありません） 高齢化社会に向けて市全体としてどう取り組んでいくのか、その中での当該施設の在り方を議論すべきでしょう。
・毎年の収益が▲4.9%であれば上出来なのでは。（市の負担がどれだけあるかわからないが）他市からの利用者と費用負担を変えていると思うが、マイナス分は市で負担することも含め、考えるべき課題と思う。
・指定管理のへの導入ができれば行革の効果は大きいと思う。
・これからますます老人人口が増加することが考えられる中、大切な施設であると考えます。2年前に要介護5の義父を送りました。そのため、人員削減についてはあまり積極的に賛成できません。
・指定管理の提言もあるが、とりわけ高齢者施策や保育園等の子供の施策は「公」が担う事である。
・受皿を探してほしい。

施設名 岩村消防署上矢作分署

行財政改革行動計画(後期)における進捗状況
・消防署と消防分署のあり方の検討を行うため、H26に
検討委員会を設置し、協議検討を行います。(行動計
画書(後期)P18掲載【33】消防施設の在り方の検討)

【質疑回答】

質問	回答
火災予防活動の状況はどうですか？	○火災等が発生するたびに改正される消防関係法令を関係者に周知・指導を行い被害の軽減を図る。 ①建物建築の安全指導 ②火災予防査察 ③危険物施設の安全対策 ④高圧ガス・液化石油ガス及び火薬類に関する事務 ⑤防火管理指導 ○一般家庭の火災予防 ①高齢社宅訪問 ②住宅用火災警報器普及 ③女性防火クラブ・少年消防隊の育成 ④防火ポスター展
救急車の利用で不適切（と思われる）な利用は恵那でもありますか・また、その対策は？	○平成24年中、2,032人医療機関搬送、その内675人が軽症であり、また、一人の方が複数回要請する事案もあった。しかし、救急出動の障害となった事案はなかったと考えている。 ○救急車の不適切な利用とは安易な救急車の利用と考えるには、要請側からすれば前提が難しく、消防本部としても苦慮している。 ○対策としては、「救急車の適正利用のお願い」ポスターの活用や広報活動を行っている。
市町村消防の広域化について、恵那市は考えていないんですか？理由などありましたら一緒に教えて下さい。	○国の指針に基づき、平成20年3月「岐阜県消防広域化推進計画」の策定 ○本年4月指針の一部改正（管轄人口規模、東日本大震災）され再調査を実施 ○住民サービスの向上を最優先とした広域化の実現に向けて県に回答している。
消防の財産が他の自治体と比べて多い理由は何か？	○市町村合併を行ったことによる公有財産（消防団器具庫・その土地）が増えている。（恵那市・中津川市） ○消防団活性化委員会によって統廃合を実施中（合併後82庫を75庫とした） ○行財政改革行動計画にて実施中

【意見等】

・対象範囲が広く、少人数での対応は大変だと思うが、縮小するとすれば昼間だけの常勤とし、夜間は岩村の対応とすることも考えられる。
・合併協議の際、笠岡地域の分署設置が議論されたが、この地域に必要なならば再度、笠岡地域（中野方）にも検討が必要。
・市全体の公平性を考えるべきです。旧恵那市には41名、岩村24名、明智11名、分署4（1）合計80名。
・消防署長もお話されていましたが、消防の最大の目的は“予防活動”にあるということで、全く同感ですが、これからの高齢化限界集落等の傾向を考えると、予防の重要性がますます高まってくると思われます。特に郊外地域については、早めに対策を講じていただくよう、お願いします。
・署の役割から考え、最低限のレベルと感じた。
・旧恵那地区とのバランスを考えると恵南地区は多い。
・H26年度検討委員会を設置、協議を予定されていたが、旧恵那地区のあり方を含め早期の方針決定を希望する。
・市町村消防の広域化（県外を含む）をすすめるべきだと思う。
・消防署の統合は、地域住民の不安をなくすることが第一であると考えます。各地域への消防車、救急車の到着可能時間を明確に示す必要ではないでしょうか。
・組織の統合も火災、救急等も視野に入れて考える。

現地視察全般にかかる意見等

・全体に施設を視察する時間が短すぎた。（ゆとりを持っての対応にしてほしい。）
・事前に資料を配布していただき、現状を大まかに知った上での視察だったので説明等も良く分かったが、中には説明、対応の悪いところもあった。
・視察することで、今後の課題の整理（個々の意見）が出来、大変参考になりました。ありがとうございました。
・全体の時間（9：00～16：00）に納め、箇所数の時間配分20分→40分位にしたらどうでしょうか？
・まだいろんな施設が沢山ある。合併したからには公平性を第一に考え、行革ありきでなしに地域の方々と充分な話し合いを行い、将来につけを残さない、恵那市に住んで良かったと思える市を目指すことが必要だと思います。
●保育園とアンケートに関して ・利用者の声を、第三者評価機構を通して受け取るという仕組みは本当に良いのでしょうか。直接声を聴き、自分たちで直ぐに対応しなければならないこともあると思いますが、この仕組みでは、第三者から指摘されていないので、やらなくてもよい。という現場の判断になってしまいます。CS（顧客満足）の視点からは少しずれているのではないかと思います。 ・また、改善やアンケートをとるかとならないかの判断を運営委員会に諮りたいとありますがそんなことまで運営委員会に判断を委ねるのでしょうか、現場の主体性はどこにあるのでしょうか。 現場でお話を聞いていても、施設の長として、この施設をどうしたいのか、という熱い思いを感じられなかったには、自分はリーダーというよりも、現場の管理者という意識が強いように思いましたが、私の思い違いでしょうか。
●現場視察のスケジュールに関して ・もっと、現場の問題について意見交換をした方が効果的だと思います。それぞれの業務に関しては素人ですが、問題解決の意見交換なら素人アイデアも生かせることもあります。 ・今回の訪問先では、回想センターとひまわりではやや問題意識を感じましたが、それ以外ではあまり感じる事ができませんでした。（それが問題かもしれません）
・現地ではQ & Aが中心となっていたが、せつくなので「現地現物」でオペレーションの実態、問題についてもっと時間をとった時間をとった方がよかった。（見る時間をとる）
・施設が400以上あるという事ですが、恵那市は市の規模から多いほうですか？
・アウトソーシング（指定管理等）は進めるべきだと思いますが、地域力につながる方法を選ぶべきだと思います。
・視察先として、中野方、飯地、笠置などに対象となるところはないのでしょうか。
・明智の住民の中には、今まであったたくさんの施設が目に見えて減少していることに対して漫然とした不安や不満を持つ人がほとんどです。 市の行政を見直し、財政を立て直さなければ、住民生活の危機であることを根気強く住民に訴え続けて、住民の理解を得ることが必要だと考えています。
・行革の視察は2回目ですが、勉強不足の私としては少し混乱しました。行革の委員の方々から、恵那市の為にさらによりよい意見が出るよう、視察の目的をもっと明確にして下さい。 例えばですが・・・視察先の施設は、 ・どのような事業が行われているか。（関係する事業名を明記してほしい） ・市はどこに重点をおいてすすめていく予定か。（「第二次恵那市行財政改革行動計画 後期」のP9~の内容です。回想法センターであれば、“公共施設の効率的な運営”で方法としては“指定管理者制度の導入”というように） ということがわかるよう、各視察先の資料に明記していただけないでしょうか？そうすれば、視察の視点もおのずとそこにいきます。話し合われる内容も質問もそうなるはずです。 以下は私だけの希望かもしれませんが、やはり、視察までには24年度の事務事業成果表なども見ることができるとよかったと思います。（シート1枚で事業ごとにかかるコストや成果、改善方法や今後の方針が一度に見ることができるからです）